

Sai-Fi : Science and Fiction SFの想像力×科学技術

第1部 10時20分から12時

藤崎慎吾先生(科学ジャーナリスト・SF作家)を迎えて

○挨拶/井口壽乃(埼玉大学副学長)

■講演/10時30分から11時30分

○紹介・進行/杉浦晋(埼玉大学人文社会科学研究所教授)

「理系と文系の間～生命の起源を例として」

藤崎慎吾(科学ジャーナリスト・SF作家)

■質疑/11時30分から12時

第2部 13時30分から15時10分

劉慈欣先生(SF作家)を迎えて

○挨拶・プロジェクト紹介/大澤博隆(筑波大学システム情報系助教)

パネルセッション①/「中国におけるSFと技術政策との関連」

劉慈欣、大澤博隆、藤崎慎吾

指定討論者/

田代信(埼玉大学理工学研究科教授、JAXA宇宙科学研究所特任教授)

宮本道人(神経科学研究者、サイエンスライター)

第3部 15時30分から17時20分

上田早夕里先生(SF作家)を迎えて

パネルセッション②/「日中・アジアのSFの想像力」

■対談/上田早夕里 × 劉慈欣

指定討論者/

長谷敏司(SF作家、日本SF作家クラブ理事)

藤井大洋(SF作家、日本SF作家クラブ理事)

立原透耶(作家、翻訳家)

◎総合司会/山崎敬一(埼玉大学人文社会科学研究所教授)

■共催(第2・3部)/JST RISTEX HITE 想像力のアップデート:人工知能のデザインフィクション(代表・大澤博隆)、

科学研究費挑戦的研究(萌芽)「語り・身体・イメージの連関と変容の学際的研究—エスノメディアロジーの構築」(代表・山崎敬一)

■協力(第2・3部)/早川書房

パネリスト

大澤博隆:
筑波大学システム情報系助教。ヒューマンエージェントインタラクション、人工知能の研究に幅広く従事。人工知能学会、情報処理学会、日本認知科学会、ACM等会員、日本SF作家クラブ会員、博士(工学、慶應義塾大学)。

指定討論者

田代 信:
埼玉大学教授、JAXA宇宙科学研究所特任教授。

宮本道人:
科学文化クリエイター、応用文芸評論家、変人類学者。変人類学研究所(東京学芸大学×NPO法人東京学芸大こども未来研究所×株式会社CREATORAGENT)主任研究員。

長谷敏司:
日本SF作家クラブ理事。「戦略拠点32098 楽園」で第6回スニーカー大賞金賞。『My Humanity』で第35回日本SF大賞を受賞。『BEATLESS』の世界観と設定をオープンソースにするアナログハック・オープンリソース運営中。

藤井大洋:
日本SF作家クラブ理事。『オービタル・クラウド』で第35回日本SF大賞、第46回星雲賞、連作短編集の「ハロー・ワールド」で第40回吉川英治文学新人賞を受賞。

立原透耶:
1991年「夢売りのたまご」でコバルト読者大賞受賞。『立原透耶著作集』(全5巻/彩流社)などSFやファンタジー、ホラー小説を執筆。

ゲストスピーカー

藤崎慎吾: Shingo Fujisaki / ふじさき・しんご

1962年、東京都生まれ。埼玉県在住。埼玉大学教養学部卒。米メリランド大学海洋・河口部環境科学 専攻修士課程修了。科学雑誌の編集者や記者、映像ソフトのプロデューサーなどをするかたわら小説を書き、1999年に『クリスタルサイレンス』で作家デビュー。早川書房「ベストSF1999」国内篇1位となる。現在はフリーランスの立場で小説のほか科学関係の記事やノンフィクションなどを執筆している。『深海のパイロット』『日本列島は沈没するか?』『ハイドゥナン』『鯨の王』『深海大戦 Abyssal Wars』3部作など海を舞台にした著作が多い。民俗学にも強い関心があり「蜃女」「遠乃物語」といった作品に反映されている。生命の起源に関連したノンフィクションには『辺境生物探訪記』(共著)、『生命1.0への道』(<https://gendai.ismedia.jp/list/series/seimei10>)がある。



(Author Photo (c) by Lin Wan)

劉慈欣: Cixin Liu / りゅう・じきん / リウ・ツーシン

1963年、山西省陽泉生まれ。発電所でエンジニアとして働いたかたわら、SF短篇を執筆。本作『三体』が、2006年から中国のSF雑誌『科幻世界』に連載され、2008年に単行本として刊行されると、人気爆発。『三体』三部作(『三体』『黑暗森林』『死神永生』)で2100万部以上を売り上げた。中国のみならず世界的にも評価され、2014年にはケン・リュウ訳の英訳版が刊行。2015年、翻訳書として、またアジア人作家として初めてSF最大の賞であるヒューゴー賞を受賞。また、原作短篇「さまよえる地球」が『流転の地球』として映画化、中国国内では初週の高成績としては史上最高を記録したと報じられた。今もっとも注目すべき作家のひとりである。

上田早夕里: Sayuri Ueda / うえだ・さゆり

2003年『火星ダーク・バラード』で第4回小松左京賞を受賞。プロ作家活動に入る。主な著作に『魚舟・獣舟』『華竜の宮』『リリエントールの末裔』『深紅の碑文』『夢みる葦笛』などがある。2011年『華竜の宮』で第32回日本SF大賞を受賞。近年は『破滅の王』(2018年/第159回直木三十五賞候補作)など、歴史を題材にした作品も執筆している。宇宙作家クラブ会員。



2019年 10月13日(日) 10時開場 10時20分開始 埼玉大学大学会館大集会室

一般参加の方法は、8月8日(予定)に埼玉大学のホームページで公開します。
(http://www.saitama-u.ac.jp/seminar_archives/2019-0726-1515-19.html)
8月20日から受付の予定です。

アクセス/埼玉大学までは、JR 京浜東北線「北浦和駅」、JR 埼京線「南与野駅」、東武東上線「志木駅」それぞれバス乗車(詳細はHPをご参照ください)。
<http://www.saitama-u.ac.jp/access/accessmap/>

埼玉大学の教養学部は、70年前に旧制浦和高等学校を母体とする文理学部として出発し、栄えあるリベラルアーツ高等教育機関としての伝統を引き継いでまいりました。この度、埼玉大学創立70周年を記念し、教養学部と人文社会科学研究所は、他の研究科と協力した連続学際シンポジウムを開催いたします。

